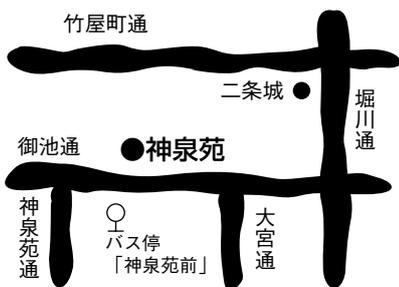




べんからごうし

第 4 号

●1995年11月発行
●編集・発行 社会福祉法人
京都市中京区社会福祉協議会



中京探訪 神泉苑

青く澄みわたった秋空や色付き始めた紅葉を水面に美しく映し出し、神泉苑の池は今日も道行く人々の心をなごませてくれます。こもり繁った中嶋の木々で鷺が羽を安める姿を、停留所でバスを待ちながら眺められる。思わず町のまん中であることを忘れてしまいます。

神泉苑狂言や子ども興、そして日々の暮らしの中に欠かせない憩いの場として、すっかり町にとけこむ神泉苑ですが、その歴史は古く、様々に形を変えてきました。

平安京の頃に、豊かな泉が湧き出る貴重な場所として御苑となり、数多くの帝が花見や舟遊びを楽しみました。「御池通り」の名前が示すように、今の十数倍の大きな池だったそうです。

弘法大師がここで雨乞いを行なったことから、その後祈雨修法がさかに行なわれるようになり、仁海僧正が何度も通って「仁海雨僧正」と呼ばれるようになった話が有名です。雨乞いは昭和の時代にまで受け継がれ、丹波や滋賀からも人々が訪れています。

二条城築城にともない縮小されるのを、当の担当者だった板倉勝重が悲しみ、片桐且元と快我上人と共に池畔や堂塔を整えて寺院とし、今の形になりました。

それからおよそ四百年。神泉苑は今も昔も、静かなたたずまいの中に「水の尊さ」を語ってくれる、そんな場として人々に親しまれています。

いきいきとひろがる、 共感ライフステージ

中京区地域福祉センター開設！

区社会福祉協議会の事務所も

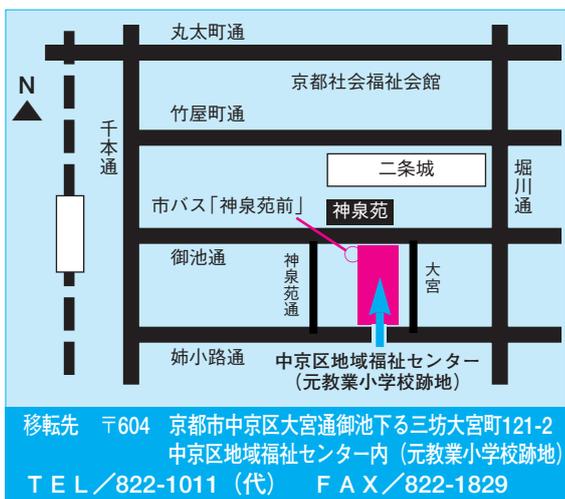
新しくなりました



地域福祉センター開設によせて
社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会

会長 山段芳春

中京区社会福祉協議会は、平成五年四月に田邊



5つの機能をもつ中京区地域福祉センター

① 地域福祉の希望と夢を のせた拠点

中京区地域福祉センターは、区のほぼ中心地にあり、区役所・福祉事務所・保健所・消防署に近く、また御池通りに面し交通の便もよいことから、区内の皆様にご利用いただきたきやすいところです。

さらに、中京区社会福祉協議会の事務所を本センター内に移転いたしましたので、区民の皆様とともにこれからの地域福祉について話し合い、行動していく拠点となることを願っています。

③ あらゆる会合、研修に 対応できる会議室

福祉関係者が集え、話し合え、研修もできるといった3つのタイプの異なる会議室・研修室があります。

④ 学区社協活動発展のための 研修の場

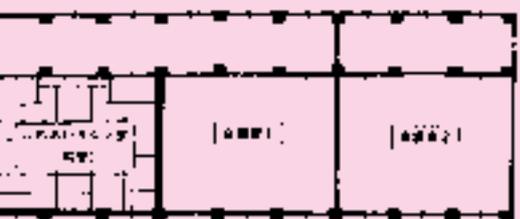
学区において地域福祉を発展していくために、その担い手となる方々に対して必要な研修ができる場となっています。

② 気軽に集え交流できる サロン

高齢者やその介護をされている家族の方々が、気軽に交流でき元気を養えるサロンを設置しています。

⑤ ボランティア活動を高める ためのルーム

ボランティア活動に関心や興味がある方に対して、今後、情報提供、活動の場の斡旋等を行っていきます。



京都市長をお迎えし、設立四〇周年記念大会を開催いたしました。その大会において京都市の基本方針であります、『人が主役の健康都市づくり』（子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、すべての市民が、健やかで心豊かに暮らせる町づくりをすすめる）に全面的に賛同し、「元小学校の跡地に、高齢者と若年世代との交流を深め、世代間の連帯と活力に満ちた地域社会の形成をはかるため、その発信基地となるべき拠点として、総合的福祉センターを建設すること、また地域住民を挙げて、署名運動を行う」という大会宣言を決議しました。

中京区においては、六五歳以上の高齢者人口比率が一七・八%を占め、内東部の学区では二四%を超える高率になっています。しかし現状では福祉施設があまりにも少なく、在宅福祉を支えるデイサービスセンターもなく、当社会福祉協議会事務局も仮事務所の状態でした。

地域福祉を推進する社会福祉協議会の役割を果たすためには、自前で拠点づくりを考え、この想いにご理解いただいた、公共性の強い企業からの大きな支援を受け、また、京都市民生局の社会福祉協議会整備事業の位置づけにより、元教養小学校跡を改装整備し、中京区地域福祉センターとして完成しました。

現在、中京区の福祉の発信基地として、活用できる様々なプログラムを用意し、家庭、地域で孤立させない、元気のである福祉をテーマに在宅福祉を推進しております。

当センター開設にあたって、大きな支援をいただいた関係各位の皆様にお礼を申し上げますとともに、その期待に添うべく中京区社会福祉協議会を挙げて、福祉の町づくりに取り組んでまいりますので、一層のご支援ご指導をお願いいたします。

■こんな事業を行っています。

ふれあいきいきサロン事業

高齢者が健やかでいきいきと暮らせるために、月1回、健康チェック、レクリエーションや交流活動を行っています。

ふれあいきいきサロン事業

ボランティア研修会

ふれあいきいきサロン事業に協力いただけるボランティアを募り、必要な研修を行っています。

高齢者等住宅改造支援事業

月1回、寝たきりにならないために住まいの改造に関する相談会を行い、アドバイスや施工業者の斡旋を行うとともに、高齢者や障害のある方がいらっしゃる世帯に対して住宅改造助成金をお渡しいたします。

介護者交流サロン

寝たきりや痴呆症状のある高齢者を介護されている家族の皆様の憩いと交流・情報交換が気軽にできるサロンを月1回、開設しています。

学区社協実務者講座

地域福祉を発展させるため、今後、学区社協活動の中心となって行動できる人たちを対象に、月1回、必要な講座を開講しています。

福祉関係団体の会合、研修のための会場提供

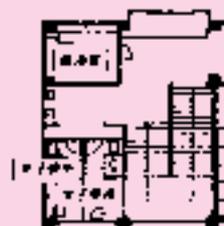
福祉関係団体が会合や研修を行うにあたっては、会議室をご利用いただけます。



1階平面図



2階平面図



募集中

地域福祉の充実と拡大を目指して
事業は広がります

ふれあい い・き・い・きサロン

私たちが暮らす中京区は、ひとり暮らしの方や高齢者夫婦世帯の多い町です。長寿社会を迎えて、高齢になっても住み慣れた地域で元気に、安心して暮らしていけることは、どんなに素晴らしいことでしょうか。

そこで、レクリエーションなどをおこない、高齢の方が在宅生活をより豊かにするための「ふれあい い・き・い・きサロン」を次のとおりオープンいたしました。高齢者の皆様のご参加をお待ちいたしております。

●日時 毎月十一日
午後一時三十分～三時三十分

●場所 中京区地域福祉センター
二階「ふれあいサロン室」

●対象 六十五才以上の方で、自力で

来所できる方。定員二十名。



ふれあい い・き・い・きサロン
協力ボランティア
募集!

話し相手やレクリエーションなどをおこないながら、お昼の楽しい一時を、お年寄りの方と一緒に過ごしていただける、ボランティアの方を募集しています。



戦後最悪の
災害となった
阪神・淡路大震災

— 救援ボランティア活動を通して —



京都信用金庫職員会議
書記局長 中島清

寝たきりを防ぐため 住まいの改善の 相談・支援を行って います

今、お住まいの家のお風呂やトイレに手すりをつけたり、土間の上がり下がりを楽にするなど少しの住居の改善で、高齢期の暮らしは豊かなものになります。こうした住まいの工夫は、寝たきりの生活を防ぐために欠かせません。

中京区社会福祉協議会では、寝たきりにならず、豊かな高齢期を過ごすための住まいに関する相談と支援の取り組みを行っています。

どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。相談日には京都すまいづくりセンター（京都市の第3セクター）の専門のスタッフが適切なアドバイスをさせていただきます。

●住まいの相談日

毎月第一水曜日

午後二時～四時三十分

●相談場所

中京区地域福祉センター

●高齢者や障害者の住居改造にあたっては、
三

寝たきりや 痴呆症状のある 高齢者を介護され ている家族の皆様

介護者交流サロンのご案内

これまで、中京区社会福祉協議会では、介護者リフレッシュ事業を年一回実施してきましたが、ご参加いただいた介護家族の皆様から、もっと介護者が交流できる場がほしいという要望が出されました。そこで中京区地域福祉センターの開設を機に



介護者交流サロンを月一回常設することにしました。

本サロンは、寝たきりや痴呆症状のある高齢者を介護されている家族のためのサロンであり、介護家族の皆様との交流・情報交換がはかれる場にしていきたいと考えております。

つきましては、介護者の皆様お気軽に、ぜひお越し下さい。

●日 時 毎月二十日

午後一時～四時

（一時三十分から三時までは
スタッフによる交流会）

●場 所 中京区地域福祉センター



私共、京都信用金庫の職員からも被災者が出た。そんな中で職員から、自分たちには何か救援のお手伝いができないか声が上がった。中京区社会福祉協議会を通して救援ボランティアに申し込み、三月の十二日と十九日の二班に分かれて芦屋市民センターへの炊き出し活動が割り当てとなった。現地はビルが傾き家が崩れて報道で観るより凄い。みんな興奮して緊張している。市民センターの調理室で五〇〇食の炊き込みご飯を準備しなくてはいけない。夕食まででできるのか不安だ。みんな慣れない手つきで一生懸命材料をきざんだ。夕食開始の六時が近づいてくる。ご飯が炊けた。スープができた。いよいよ給食開始。順序よく取りに来られる。おかわりを求められると何か嬉しい。できはますまずだった。後片付けを終えて現地を出たのが夜八時。外は真っ暗。体はまだ興奮しているが気持ちいい一日だった。救援活動と簡単に言うが、大変な事だ。今は一日も早い復興を望む。そしてモノの救助だけでなく、人のつながりに重点を置いた市民社会に育ってほしいと強く感じた。

各事業のお問い合わせやお申し込みは

中京区社会福祉協議会事務局（TEL 八三二・一〇一一）までお願いいたします。

ご存知ですか

各学区の社会福祉協議会では こんな事業が すすめられています

地域で暮らしている、すべての方々がより安心して暮らしていけることは、どんなにすばらしいことでしょうか。学区社会福祉協議会（学区社協）とは、住民の方々がみんなで見守りや知恵を出し合い、みんなの力で福祉の問題を抱えている方々を支えていき、その活動を通して、すべての住民の方にとって住みよい地域づくりをすすめていく住民団体です。ここに紹介している事業は、ほんの一例です。みなさんも学区社協の活動に参加してみませんか。

「在宅老人ふれあい事業」

一人暮らしや寝たきりの高齢者を対象に、昼食会・茶話会・敬老交流等、ふれ



「寝具クリーニングサービス事業」

一人暮らしや寝たきりの高齢者、また障害のある人を



「障害者地域交流事業」

障害のある人もない人も、日常住み暮らす地域で交流や支えあう関係づくりをめざして、七学区社協で取り組んでいます。



「小地域広報紙発行事業」

住民の方に学区社協活動や福祉問題を広くアピールするために、十一学区社協で広報紙を発行しています。

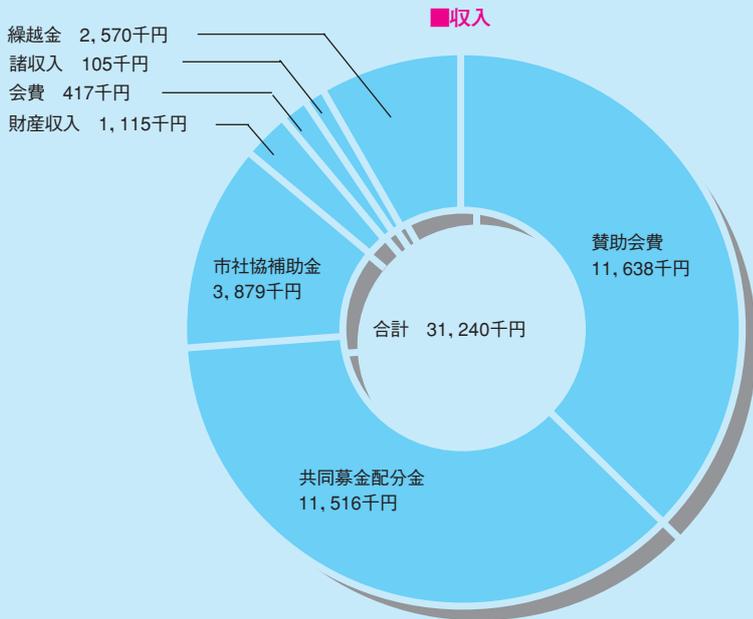


「ボランティア育成事業」

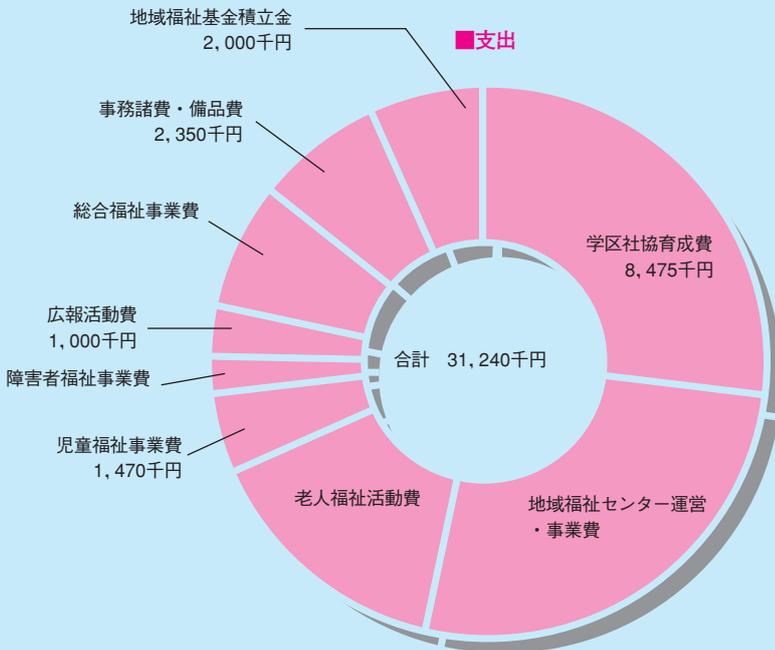
学区社協活動をすすめていただく、ボランティアの養成・研修を、十学区社協において取り組んでいます。



平成7年度中京区社会福祉協議会一般会計予算



(阪神大震災義援金 4,217千円)



(阪神大震災義援金 4,217千円)

賛助会費にご協力いただきありがとうございます。

中京区社会福祉協議会では、地域福祉をいっそう発展させるために、区民の皆様に賛助会員加入のお願いをさせていただきましたところ、たいへん多くの方々からご賛同を得て一、六三八、六〇〇円もの多額の賛助

会費をいただきました。どうもありがとうございました。このたび頂戴いたしました賛助会費につきましては、左の表のとおり平成七年度の地域福祉事業に有効に活用させていただきますので、ここに御礼とともに

ご報告をさせていただきます。また、賛助会費につきましては毎年、学区社会福祉協議会を通じて区民の皆様にお願ひさせていただきますので、今後ともよろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

訪問

福祉活動推進団体
さまざまな福祉事業を支援する
(社)京都馬主協会

(社)京都馬主協会が行う社会福祉施設整備補助事業について圓城和男会長にお聞きしました。

昭和四十四年に、社会福祉に貢献し、あわせて競馬に対する社会の認識を高めるために、馬主が賞金の一部を拠出して中央競馬馬主社会福祉財団が設立されました。

「みなさんを買っていただく馬券代の一部が社会福祉にいかされているわけです。みなさんの善意が実際に届いているのですよ」という圓城会長の言葉通り、二十六年間で一万三千八百六十七施設に対して六百八十八億円あまりの助成が実施されてきましたが、京都でも千五十三施設に六十五億円の助成が実施されてきました。

「京都では主に京都、大阪の両府、市関係の老人ホームや母子児童に関わる福祉施設、心身に障害をもたれている方のための施設などを中心に助成寄付を行ってきましたが、本当に困っておられる方々、必要とされる団体のためにいかされるよう、これからも充実発展させていきたいと考えています」

地域福祉の充実と発展を願う(社)京都馬主協会の今後の活躍に期待と注目が集まっています。

ありがとうございました。

京都北ライオンズクラブからプロジェクト一式をいただきました。
ありがとうございました。